

大 夢 (だいむ)

上野原西中学校 学校通信 第6号

令和3年9月24日(金)

文責 校長 梶原 満

TEL (62) 3103

学校生活の様子(8月30日～)



オンライン学習



登校時の消毒



分散登校



併用型授業



給食準備

オンライン学習・分散登校・併用型授業 ～健康安全と教育活動の両立～

夏休み中も全国に影響を及ぼした「新型コロナウイルス」。本校でも8月25日に2学期の始業式をリモート形式で実施しましたが、翌週からは通常とは異なる方法で教育活動(授業)を行いました。生徒の健康安全と学習保障の両立を考え、全教職員で知恵を出し合いました。

8月30日の週は、県内初となる「オンライン学習」です。市から貸与された端末を全生徒が家庭に持ち帰り、学校と家庭をオンラインで結び、朝の会や各教科の授業を行うものです。初の試みでしたが、ご家庭の協力もいただきながら円滑に実施することができました。

9月6日の週は、「分散登校」です。すべてのクラスを午前と午後のグループに分け、教室の人数を半分に削減し、授業を行いました。生徒たちは明るく笑顔で生活していました。

そして、9月13日の週は、「クラスの生徒を2教室に分けてのハイブリッド授業」です。半数が対面授業、半数が隣の教室で同一内容のオンライン授業、給食も同様に半数ずつです。

今後も感染状況等を見極めながら、慎重に対応していきます。週ごとに形態が変わり、活動も制限されていますが、全員で力を合わせて前に進めていきたいと思います。学園祭等の行事についても可能な方法を今後も探っていきます。(詳細は本校のホームページをご覧ください)

校長室レポート

～ スタッフ紹介④ 西中を支える専門職3名 ～

今回は、養護教諭の藤塚美和子先生、栄養教諭の大神田志保先生、そして、事務職員の清水利江子先生です。「教諭」の2名は必要に応じて授業をすることも可能です。

藤塚先生は「保健室の先生」として、皆さんの健康安全について、専門的な知識をもとに丁寧に対応してくれます。大神田先生は「食教育」の専門家です。給食の献立を考えたり、市内の小中学校へ給食指導に行ったりします。藤塚先生と大神田先生は、剣道部と野球部の顧問も担当しています。3人目は事務職員の清水先生です。皆さんがより良い環境で生活するために、教材や学校設備全体の予算調整、発注などを行う学校事務のスペシャリストです。

3名とも、専門的な立場で私たちを様々な面から支援する、頼りになるスタッフです。

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果から

西中の状況は・・・

5月27日（木）、2年ぶりに「全国学力・学習状況調査」が実施されました。対象は全国の中学校3年生です。本校の3年生も国語・数学・質問紙調査の3種類の調査に挑戦しました。

調査結果の概要をお伝えします。＜5月の段階であるため、あくまでも参考資料です＞

- * 国語は、客観問題は正答率が高い反面、記述式問題の正答率が低い傾向にある。
- * 数学は、計算問題は確実性があるが、式が成り立つ理由を説明する問題等の正答率が低い。
- * 国語、数学ともに、「あと少しで正解」という解答が多い。粘り強さが求められる。
- * 質問紙調査の結果から（本校の特徴的なものを抜粋）：
 - ・「人の役に立つ人間になりたい」という質問への肯定的回答、本校は100%（大きな強み）。
 - ・「難しいことにも失敗を恐れずに挑戦する」への肯定的回答、本校は70%（非常に高い）。
 - ・ICTと英語に関する質問では、肯定的回答が全国や県の平均と比較して突出している。
 - ・課題は、それぞれが学習習慣や基本的生活習慣をいかに定着させ継続していくか。

これからの時代、持っている知識だけでは・・・

今年も掲載します

時代は超スマート社会（Society5.0）、つまり、インターネットや情報機器等を活用して、私たちの生活をより快適で便利にする動きのことです。事実、生活の中にAI（人工知能）や情報通信技術が組み込まれ、年齢や地域を問わず、めざましいスピードで様々なことができるようになっていきます。ドローンを使つての遠隔地への物資配達、医療施設やデイサービスでの介護ロボットの活躍、AI・ビッグデータを駆使した正確な気象予報の実現などです。

一方で、今後数十年の間に現在の職業の半分以上は消滅しているといった、衝撃的な予測も出されています。「急激かつ多様に変化する社会をどう生き抜くか」これが大きなテーマです。

そうした中、私たちに求められるのは、従来の知識重視の形ではなく、その持っている知識を、いかに活用していくかです。自動車の運転免許、取得したあと運転する機会がない人と、毎日運転している人では、違いは明らかです。教師の授業にも変化や意識改革が求められています。

そして、大学入試も変化しています。正解が一つではない入試問題が増えています。次の質問はある有名私立大学の入試問題（英語）です。「ある星から宇宙人が地球へやってきて、地球人に質問しました『きみたちの星には、なぜたくさんの国があるのですか？』この問いにあなたなりの考えを英語で書きなさい。」 また、右の挿絵は、東京大学の2次試験の問題（英語）です。「絵に描かれた状況を自由に解釈し、40～50語の英語で答えよ」。一人一人の思考力や表現力が求められる問題です。

中学校の授業も変化します。昨年度から始まった学習指導要領の重点の一つ「主体的・対話的で深い学び」の点から、生徒に「思考力・判断力・表現力」をつけさせることが求められます。現在は感染症対策で思うように進まない面もありますが、本校ではICT活用等、教職員が様々な工夫をして、【質の高い授業】を目指します。

